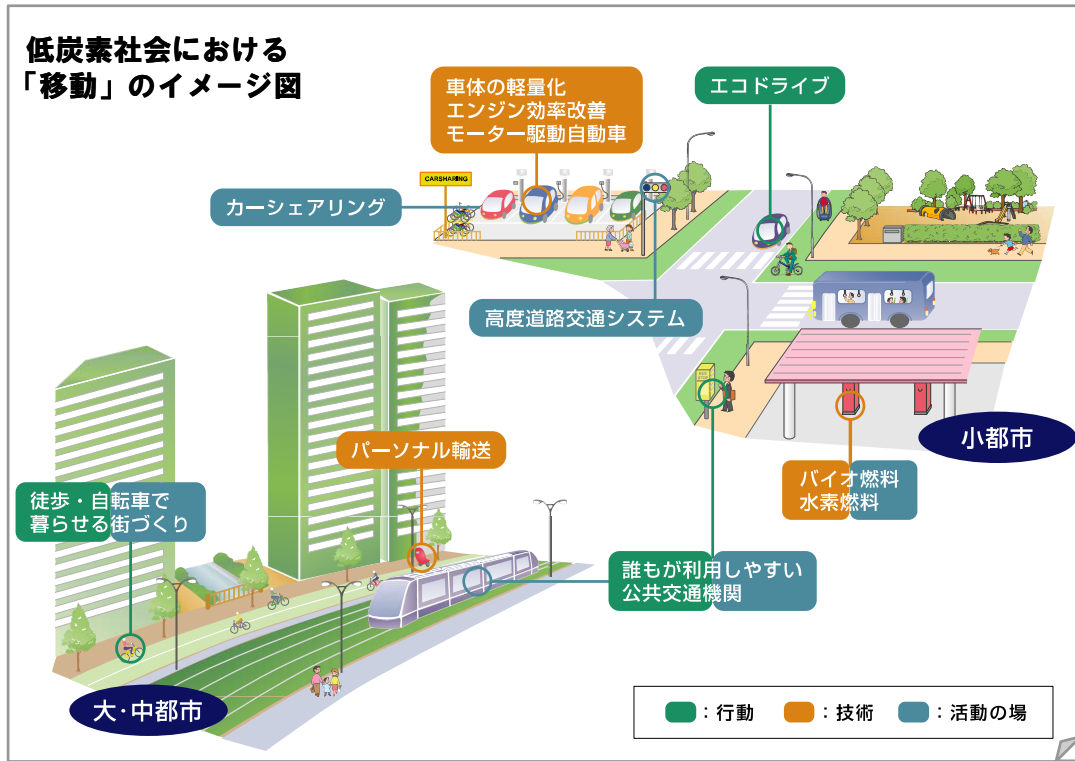


## 2. 低炭素社会の具体的イメージ（1）

### － 移動 －



#### 行動 Behavior

- ・ 移動手段毎のCO<sub>2</sub>の排出量（「見える化」技術）や高度道路交通システムにより公共交通機関の運行情報を移動者がいつでも把握することができ、その情報に基づき環境負荷の小さい移動手段を選択している。
- ・ 地域の街作りに住民は様々な形で積極的に参加している。

#### 技術 Technology

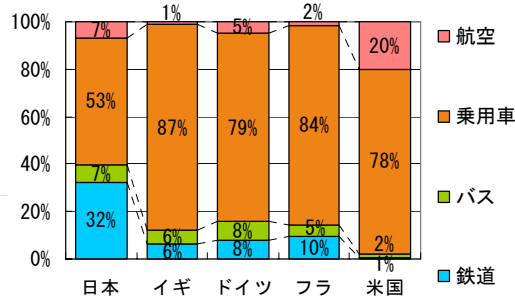
- ・ 車体の軽量化やモーター駆動自動車（プラグインハイブリッド自動車・電気自動車・燃料電池自動車）の普及などにより、自動車単体は大幅に高効率化。自動車による大気汚染問題は大きく改善されている。
- ・ 様々な種類のパーソナル移動体（一人乗り）が数多く誕生。移動手段の選択は大幅に広がる。
- ・ 高度道路交通システムにより移動体の自律的な運転が可能。交通事故がほぼゼロになっている。

#### 活動の場 Field of activities

- ・ 都市規模に応じて鉄道、バス、モノレール、LRTなどといった公共交通機関が適切に選択、組み合わせられて運用されている。
- ・ 物流については先端の情報技術によって高度管理が行われ、鉄道・船舶・自動車が適切に組み合わせられ、低炭素物流システムが形成されている。
- ・ 公共交通機関の駅を中心としてトランジットモールや自転車専用道路が形成されるなど、歩行者や自転車利用者に優しいコンパクトな街が形成されている。
- ・ カーシェアリングシステムが整備され、人々は必要なときに必要なサイズの自動車をレンタルする。
- ・ 高度道路交通システムは、交通情報を収集・提供するだけでなく、高度な道路利用課金方法を可能にし、低炭素交通システムを実現する基盤を形作っている。

#### 日本の誇り

##### 高い公共交通機関利用率



先進国の旅客輸送量の内訳 日:2003, 英・独・仏:2002, 米:2001 (国土交通省資料)

##### 優れた移動体技術

